

断熱・気密の先にある付加価値を発信



インタビュー FPコーポレーション 代表取締役社長 五十嵐 健氏

FPコーポレーション(札幌市)は主力製品の「FPウレタン断熱パネル」が今年、誕生から40周年を迎えたのを機に、「FPの家」のリブランディングを実施する。高断熱・高気密の性能を主とする発信から、住まいが求める暮らしの安全や快適性を訴求する新たな視点の発信へ。今年4月に新社長に就任した五十嵐健氏にリブランディングの狙いと今後のかじ取りについて聞いた。

耐震・耐水・室内環境で暮らしを守る

FPバネルは1985年に誕生し、今年でちょうど40周年を迎えます。これを機にブランドロゴを刷新し、ブランドینگを再構築していこうと、会員やユーザーの皆様幅広くお伝えしているところです。

今年からついに省エネ
基準の適合が義務化とな
った。

や熊本地震では唐りの家が被害を受けた中で、弊社のパネルを使った家が無事だったという事例もあります。ただそこに明確な科学的根拠がなければ説得力に欠けます。そこで業界で有名なM's構造設計横浜市の佐藤実さんに協力をお願いしました。

暮らしを守る性能

耐震性の余力についてお
客様へいかにわかりやす
くお伝えするかという点
や、その余力の計算方法
を具体的に落とし込むこ
とにも取り組んでいきま
す。

ます。当然、住宅においても夏の暑さ、冬の寒さに対して温度変化が少ない快適な環境を維持できる。単なる性能合戦では

なく、F.P.パネルの断熱性能がヒートショックや熱中症を防ぐ、耐震性や耐水性が災害から暮らしの安全や安心を守る、その価値を伝える新たなブランドメッセージを「くらしといのちを守るため。」として、これから積極的に発信していきたいと考えています。

広がる会員の交流

昨年度からF.P.クルー

め。」とし、これを取り入れた新ロゴマークを発表した。

「FPの家」は高性能な「FPウレタン断熱パネル」を中心とした高断熱・高気密な家づくり

しを守る。いつもの安心」。FPの家の断熱・気密性能がヒートショックや熱中症などの健康リスクを低減することで二年を通して快適で健康的な暮らしを実現する。

e & Urethranpanee」の略称と定義してきたが、新しいブランドメッセージを反映し、「Felicity(くらしを守る家)+Protect life(いのちを

た家づくりを求められています。「高断熱・高气密なF.P.の家」ということをずっと打ち出してきた弊社としては断熱・気密にはもちろん自信を持っています。が、それだけでなく、さらにプラスアルファの付加価値を訴求していきたいと考えています。その一つが「耐震性」です。

よつと考えていたのです
が、現行のパネルのデー
タをお見せしたところ、
「思っていた以上に十分
な強度があり、これ以上
の強化は必要ない」とい
う評価をいただきました。
F.P.パネルは設計上
の計算に盛り込まれない
余力として、建物の耐震
性を高めます。F.P.パ
ネルを使って耐震等級3の

いう点をお伝えしていきたい。道外では高知県で起きた水害で床上2mまで浸水してしまったモデルハウスがわずか3週間で復旧できた事例があります。

「FPパネル リブラン」

を推進してきた。しかし時代の変化に伴い、製品性能を打ち出す「プロダクトアウト」からユーザーのニーズに応える「マーケットイン」への転換を図り、近年の自然災害の増加や健康意識の高まりを踏まえて住まいの安全性や快適性を訴求する新しい視点のブランディングを展開する。

もう一つは万が一の災害から守る「もしもの安全」。M's構造設計(横浜)と協業して「FPUレタン断熱パネル」の耐震性能を検証し、計算上の設計性能以上に耐震性に余力があることを訴求していく。地震による建物の倒壊を防ぐ他、ウレタン素材の高い耐水性により、浸水被害を受けて

守る家」と定義変更。それに伴い、ロゴマークのデザインを変更した。今後順次新しいロゴへ変更していくが、変更による印刷物の廃棄などを避けるため、当面は新旧ロゴが混在する形となる。

同社はリブランディングを反映した特設Webサイト「高断熱・高気密住宅のその先へ」を公開

耐震性の「余力」

「FPパネルは地震に強い」という話は以前からあって、東日本大震災

らわるといふ検証結果が出ています。

今後はその余力を数値

は取り外して乾かせばそのまま再利用できるので復旧にかかるコストが抑

グを実施する。新たなブランドメッセージを「くらしといのちを守るた

ちを守るため。」には二つの意味が込められている。一つは日常の暮ら

する。
従来は「FP」を「O
riginal Fram

する問い合わせ先は同社
広報企画課。電話011
(741)3382。

うに準備を進めているところだ。現在、佐藤さん（左）を講師にグループ内で勉強会を開催しています。今後は9月と12月にも予定しており、Fパネルが持つ

道内では胆振東部地震の大規模停電の際、Fパネルを使った冷凍倉庫で約2日間停電しましたが温度が5度も上がらず、冷蔵品に影響なく事故を免れた事例があります。



「FPパネル」40周年の
リブランディング
FPコーポレーション

プの中でワーキンググループのような形の「チーム活動」を始めました。コロナ禍以降いろいろなセミナーがオンラインで視聴できるようにりましたが、企業の規模が違ふとあまり参考にならないこともありま
す。「FPの家」の会員企業は規模や方向性が近いので、それぞれが取り組んでいることやうまくいった事例などを一緒に

勉強していこうと、会員の皆様のアイデアもいた
だきながら活動を展開し
ています。

こうした場で聞いた話
をすぐに自社で取り入れ
られるのも、私たちのグ
ループで活動する大きな
メリットだと思います。

これまでも地域単位の交
流はありましたが、これ
からつながりを全国にと
んどん広げていきたいで
す。